

磐城時報

二夕 日刊
石城郡平町新聞社
社址 石城郡平町
電話 一四一
印刷 石城郡平町新聞社印刷部
代印 石城郡平町新聞社印刷部
定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 一行一文字一ヶ月五元 一月一元 一月五角
電話 一四一
日刊 (一) 報 (二) 報 (三) 報

佐瀬事務官以下集り

紀念事業の打合

三日午後平町元郡衙で

神谷村農事試験分場は本年で創設は現在市場附近となるので最近五週年なるので今年秋行はる早現位置に存続せしむる事情の御大典の紀念を兼ね各種事業不可能なるに迫られたので遂に計劃してある事既報の通りで其移轉説濃厚となり適當なる敷あるが、之が具體的打合せのため地物色に着手せざるが如く傳へる三日午後一時から左の人々が平町元石城郡役所に集合する事になった。

平魚市場

愈々移轉する

平町の魚市場は石城七濱出荷の集散場として近年著しき發達を示し益々賑を極めてゐるが現在の市場所在地は町の中心なる四丁目にありて町民が市場雑沓に煩る甚大なるものありしが之れが移轉説改良説に就ては屢々高唱されて来たが改良案として現在場所として到底完全なる方法を施す途なく彼我共に不便を忍んで来たが愈々四丁目へは東北に誇るべき大郵便局も建設される事となり平町文化の發祥九日ま、左の目割により石城郡の陸軍紀念日に平町松ヶ岡公園六合程をのんで二女ミサ子(十

借家人組合生る

五日民政クラブで發會式

平町の借家人有志は今回平町借内の産業組合監査を行ふこと。家人組合を組織し來る五日午後一時から平町民政クラブで創立委員會を開く筈であるが同組合では借家關係法規、裁判所判例を研究し借家代理交渉訴訟代行行為をなし又不當家賃を値下げし又強制立退きに對する反對運動を行ふ等借家問題に關する各種の運動を行ふ筈である。

借家人組合生る

五日民政クラブで發會式

十四日好間、十五日湯本、十六日玉川、十七日小名濱、十八日泉、十九日草野

産業組合監査

縣産業組合渡邊技手は十四日から

平町在郷軍人分會では來る十日は去月廿六日午後九時時半頃瀬赤井村大字出中會川政吾(五三)若、中野浩忠、草野順平等粒捕ひ、而、中野青年を以て組

忠魂碑前に集合紀念式をあげ終つて午後六時から厄子亭に於て軍事功勞者の軍事講話があること

公民講座

平第一校で

縣主催三郡青年幹部に對する公民教育講座は三日、四日の兩日平第一小學校講堂に開く筈で講師並に科目左記の如く講習生は二百余名に達する見込である

肥料講習會

石城郡山田村農會主催の一般肥料及堆肥講習會は七日頃村農會事務所にて開催されるはすであるが講師の任に當る神尾農林技師は肥料の選定及肥料と土壤の關係につき一般農村が比較的其研究心に乏しく往々にして失敗をまねぎ居るにかんがみ之れが實際の應用に適した講習を行つて見たいと

鎮守の例祭日に

築港竣功祝賀式

江名空前の賑はひを豫想さる

永戸の火事

永戸村大字下永戸井字輕井澤木挽職根本留吉方留守宅から一日午前十一時頃火災発生し住宅を全焼したが損害五百圓である、原因は小兒の弄火である。

汽車に轢かる

入浴の歸り

政戰を顧みて

嵐の跡を辿る

米穀の害虫

安島八郎氏談

女教員に愛を移し

妻を離別した首席訓導

米穀の害虫

安島八郎氏談

政戰を顧みて

嵐の跡を辿る

米穀の害虫

安島八郎氏談

女教員に愛を移し

妻を離別した首席訓導

米穀の害虫

安島八郎氏談

政戰を顧みて

嵐の跡を辿る

米穀の害虫

安島八郎氏談

女教員に愛を移し

妻を離別した首席訓導

米穀の害虫

安島八郎氏談

政戰を顧みて

嵐の跡を辿る

米穀の害虫

安島八郎氏談

の獨逸にて創製せる毒瓦斯であるが然しコクゾールを用いて殺菌したりして決して米穀類の食味を變せしむる様な作用なきのみならず使用法は極めて簡便で農村が家庭に於て之れを行ふも頗る容易にして又効果甚大農村經濟の一対策として努めて之れが驅除法を勵行して貰ひたい、其時期は地方により多少相違あるも石城郡地方とすれば倉庫内害虫發生期たる五月頃からが極めて最適で倉庫内の温度が六十度以上に達するも各種の害虫が発生する爲め之れを撲滅しかつ未前に防止するので使用量は容積千立方尺に對して二分の一程度乃至三分の一程度を適量として倉庫を密閉して晝夜燻蒸して置けばよいのである、また小倉庫に適用する場合もは俄上り階等に敷き直接撒布する方法もありて兩者何れを行ふも効果は同様にして害虫は何れも俄外に死滅し俟外に殘らず之れにより殺菌せし米穀類は其損傷率率等も極めて少いと言はれてゐる。

佐川氏の應援演説を各所に聞くに至つた。かくして各派も選挙日まで四十回乃至七十回の演説會を開いた乃ち至つたが、最初のうちは普通時代であつて聴衆も相當あり盛況を示したが、珍らしい辯士が會場によつては十二三人位はあつた。演説會で一番人氣を呼んだのは政友派に於ては鈴木辰三郎氏で、演説が縣政に關係したた手もの、而も巧みな皮肉を交へて大向ふの拍手喝采を博した。中立佐川候補の演説もその態度、内容に於て優れてゐたが殊に子弟を思ふ立場から老嫗を携げ涙して壇上に立つた小山祐五郎氏に對しては誰れでも感激の目をみはつたであつたらう。

織された磐城青年同盟會でも極力應援演説を行ふ事となつた。民政黨比佐派では辯護士山野邊義政氏が遊説部長として若松美三、野崎滿藏、鷲濱昇の各縣議が遊説隊の主体となり、その外加藤新、萩原義雄、吉田五平等雄辯家あり、木村派に比べて相劣らぬ堂々たる顔つくりを網羅した。中立佐川派も亦、小山祐五郎、四家秀行等知名の士を辯士に得た外若、中野浩忠、草野順平等粒捕ひ、而、中野青年を以て組

大浦村愛川久吉義姪で四倉町裁縫起したが、その理由によれば縫技藝女學校教師をしてゐる愛川ヤイ(二八)は今回平町辯護士猪狩一氏を代理人として大野村駒込内郷村第二小學校首席訓導高木憲平(三三)を相手取り二千圓の慰藉料請求訴訟を平支部に

工費卅一萬圓を投じ漁船の避工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

大浦村愛川久吉義姪で四倉町裁縫起したが、その理由によれば縫技藝女學校教師をしてゐる愛川ヤイ(二八)は今回平町辯護士猪狩一氏を代理人として大野村駒込内郷村第二小學校首席訓導高木憲平(三三)を相手取り二千圓の慰藉料請求訴訟を平支部に

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

工費卅一萬圓を投じ漁船の避難港として如何なる暴風雨にも安全なドック式築港完成した縣内第一の漁業地である石城郡江名町では三年度を以て縣の補助金全額交付済みとなるため來る五月廿六日は同町鎮守諏訪神社の例祭に當たるを機とし盛んな竣功式並びに祝賀會を舉ぐる事となつたが、各種の催しに同町空前の賑はひを呈するであらう

